2023 年度　岐阜大学流域圏科学研究センター
共同研究公募要領

１．公募概要

岐阜大学流域圏科学研究センターでは流域圏の現状診断と管理支援及び変動予測に基づいて、持続的な自然資源の利用を実現する実践的な『流域圏科学』を国内外の大学や研究機関、観測ネットワークの支持も受けながら推進しています。

本公募では、流域圏の森林・河川・土砂・農地・都市と環境変動に関する融合的な共同研究のインキュベーションとそれを通じた流域圏科学の体系化、及び科学コミュニティと地域社会との協働体制の促進を担い、多様な地域の環境問題への適応と解決に取り組む新しい実践的環境科学を《流域圏保全学》として醸成するための、基礎から応用分野に至る共同研究を募集します。

本公募における共同研究を進めることにより、(1)地域の森林や河川生態系の炭素循環や生物多様性にもたらす地球温暖化や人為インパクトの影響の解明と予測に基づいた地域の気候変動適応策への科学的知見の提供、(2)地域の水資源の確保に資する生態系と水質管理技術の開発と普及、(3)異常気象など、自然災害の軽減（減災）に資する技術開発と情報提供など、流域圏が抱える環境問題に総合的に対応する「グローバルな視点を持ち、地域の環境問題に対応する環境科学」の発展を図ります。

（１）募集研究テーマ

共同研究については、５つの研究テーマについて募集を行います。

本年度の公募の区分は『一般研究課題』のみであり、表-1 に受付可能な研究テーマ・区分を示します。

表-1　募集研究テーマと受付可能な共同研究の区分

募集研究テーマ	一般 研究課題
１．気象・水・物質循環システムと人間活動影響に関する研究	○
２．生態系の動態と機能の解明と予測に関する研究	○
３．流域圏の安全・リスク診断と、それに資する 環境・社会情報分析に関する研究	○
４．流域資源・エネルギーの保全・活用に関する研究	○
５．その他、流域圏科学の発展、流域圏保全に資する研究	○

（２）公募内容

共同研究については、表-1 の受付可能な共同研究区分に応じて公募します。

また、流域圏科学に関連する研究集会・ワークショップの開催についても公募いたします。

応募される際には、本センターにおける窓口となる担当教員（本紙別表２参照）を少なくとも１名決めていただく必要がありますので、応募に際して窓口となる教員と十分な打合せを行ってください。

応募された内容について、本センターで審査の上、採否を決定します。

また、申請される際には、「１０．申請における Q&A」も十分に確認して申請下さい。不明な点については、受入教員と十分に検討して申請ください。

一般研究課題：

本センター以外の部局・機関に所属する教員・研究者と本センターの教員とが協力して行うもの、あるいは、本センターの施設等（本紙別表１参照）を利用する研究を対象とします。研究組織メンバーに、本センターの教員を１名以上加えてください。

共同研究資金（設備利用費を含む）は、参画研究者（センター教員、学外研究者）が持ち寄ることを前提とし、研究費は支給しません。

２．申請資格者

（１）共同研究代表者

申請する代表者は、次のいずれかに該当する者とします。

１．大学の常勤研究者、研究機関及び民間機関の常勤研究者・技術者。

２．大学の非常勤研究者、研究機関及び民間機関の非常勤研究者・技術者。

博士課程・修士課程学生が主体的に共同研究あるいは研究集会等を企画・実施しようとする場合には、指導教員を代表者として様式１により申請してください。

（２）研究組織メンバー

申請する研究組織のメンバーは、次のいずれかに該当する者とします。

１．大学、高等専門学校の教員、研究機関及び民間機関の研究者・技術者

２．技術職員、大学院生、大学生

３．その他、本センター長が適当と認めた者

３．申請方法

申請を行うにあたって、申請代表者は、本センターの担当教員と十分な打ち合わせを行ってください。担当教員の連絡先を知りたい場合、共同研究を検討しているがどの担当教員が適切であるか判断が難しい場合には、「６．申請書類提出先及び問い合わせ先」に示した連絡先までメールにてご相談ください。

共同研究（一般研究課題）の申請者は、所属機関（部局）長の承諾の欄に署名・押印された「共同研究申請書」（様式１）の電子データを**研究開始希望日の３週間前を目途に**お送りください。ただし、共同研究課題については**随時受け付けています。**施設等の利用を伴う場合、その内容や日時等については既に採択されている共同研究を優先する場合があります。施設の利用に関しては、あらかじめセンターの担当教員（本紙別表１参照）又は「６.」に示した連絡先までご相談ください。

４．研究期間

採択通知日（随時）から 2024 年 3 月 31 日までの期間

※複数年度にまたがる研究を計画されている場合も、単年度ごとの申請をお願いします。

５．申請にあたっての留意事項

申請にあたっては、以下の留意事項をよくご確認ください。申請書は、以下の留意事項を承諾いただいたものとして受け付けます。

（１）知的財産権の取り扱いについて

知的財産権の帰属等に関しては、本学の研究者等については、国立大学法人東海国立大学機構知的財産

ポリシーに従い、その他の研究者については、発生した時に別途協議します。不明な点があれば、６．に示す共同研究支援室へお問い合わせください。

国立大学法人東海国立大学機構　知的財産ポリシー：
https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/07/20200414182131.pdf

（２）共同利用・研究における施設等の損害について

共同利用・共同研究中に、共同利用施設、設備、データベース等に利用者の過失による損害が生じた場合には、利用者の所属機関に対して原状回復をお願いすることがあります。

（３）傷害保険への加入について

学生及び労災が適用されない方が岐阜大学流域圏科学研究センターの施設を利用する場合、利用までに「学生教育研究災害傷害保険」又は同等以上の傷害保険に加入してください。

（４）変更届について

研究期間中に代表者又は、研究組織メンバーの変更（メンバーの追加、削除、所属等の変更を含む）があった際には、変更届（様式４）を速やかに提出してください。

６．申請書類提出先及び問い合わせ先

〒501-1193　岐阜県岐阜市柳戸１－１
岐阜大学流域圏科学研究センター　共同研究支援室
電子メール：　research@green.gifu-u.ac.jp

７．スケジュール

・申請期間（一般研究課題）　2023 年 3 月 29 日（火）～随時
・採択決定通知　申請後１～２週間程度
・共同研究成果報告書提出期限　2024 年 3 月下旬

８．報告

共同研究の代表者は、当該研究終了後すみやかに「共同研究成果報告書」（様式３）を、申請書提出先まで提出してください。

また、共同研究報告書の一部は、本センターが発行する資料、ホームページ等に活用させていただく場合や、資料提供を依頼する場合があります。

９．本研究による成果の発表

本共同研究による成果の発表の際は、必ず本研究事業により援助を受けた旨を明記してください。

・和文：「本研究は、岐阜大学流域圏科学研究センターの共同利用・共同研究事業（2023-XX）の支援により行った。」
・英文：”The present study was conducted using Joint Usage / Research Grant of the River Basin Research Center (2023-XX), Gifu University ”

１０．申請におけるＱ&A

本共同研究へ応募される際は、必ず下記の内容も確認して、申請ください。

Q1.　一般研究課題に申請する上で、別表１に記載されている施設・資料を利用したい場合、同表に記載の担当教員のいずれかを指名する必要があるのか。

A1.　別表１は各施設・資料を主に管理・利用されている教員を主な担当教員として記載しているのみですので、必ずしも別表１から選択する必要はありません。申請内容等に応じて、別表２を参考に受入教員を指名していただければ問題ございません。

別表１．　共同研究に使用可能な施設・資料等

（施設、資料の一覧と概要）

施設・資料名称	概要	主な担当教員（別表２も参照）
高山試験地	山地の森林及び河川生態系をフィールドとした研究が可能である。試験地庁舎内には化学実験室と生物実験室、植物標本室がある。落葉広葉樹林サイト（TKY）と常緑針葉樹林サイト（TKC）にはそれぞれ林冠観測タワーがある。TKY と TKC の施設・設備については担当教員との十分な相談を要する。各実験室と植物標本庫の利用は高山試験地に問い合わせていただきたい。試験地では気象観測も継続しており、データは当センターのホームページで公開されている。	村岡　裕由（TKY） 斎藤　琢（TKC）
微生物分析室	環境サンプル中に生息する植物病原菌の検出・定量、微生物の多様性評価、微生物の種同定ができる機器を整備している。	日恵野　綾香
水質分析室	河川や湖沼の水質、水環境保全及び水処理に係わる様々な水質指標（微生物指標も含む）を分析するための機器を整備している。	李　富生 廣岡　佳弥子
高山常緑針葉樹林サイトデータベース	高山の常緑針葉樹林サイト（TKC）において 2005 年から計測している気象データ及びタワーフラックス観測データ。一部は AsiaFlux データベース（http://www.asiaflux.net/）にて公開している（データ利用は AsiaFluxDB の利用規約に従うこと）。それ以外のデータの利用については担当教員との相談を要する。	斎藤　琢
卵菌類菌株	菌株分譲に対応可能。担当教員との十分な相談を要する。	日恵野　綾香
各種流速計	現地調査用の ADCP（RDI 社ワークホース ADCP センチネル）、水路実験用の超音波流速計（Sontek 社 MicroADV16kHz、ダウンルッキングタイプ及びサイドルッキングタイプ）を使用可能。いずれの設備についても担当教員との十分な相談を要する。	原田　守啓

※事前相談を行う場合は、担当教員に直接連絡を取るか、research@green.gifu-u.ac.jp までご連絡ください。

別表２．　岐阜大学流域圏科学研究センター　スタッフ一覧

（所属、役職、氏名、専門分野）

担当教員	専門分野	研究部門	役職	対応可能な募集研究テーマ（下表又は要領表-1 参照				
				1	2	3	4	5
大塚　俊之	生態系生態学・炭素循環・森林生態学	森林機能	教授		◎			○
村岡　裕由	植生生理生態学・衛星生態学		教授	○	◎			○
斎藤　琢	生物環境物理学・生態系生態学		准教授	○	◎	○		○
日恵野　綾香	微生物生態学・植物病理学・菌学		助教	○	○	○	◎	○
篠塚　賢一	大気化学・生物地球化学		助教	○		○		
玉川　一郎	気象学・境界層・大気陸面相互作用	水物質動態	教授	◎	○	○	○	○
李　富生	水処理工学・環境工学		教授	○	○	◎	○	○
久世　益充	地震工学・地理情報システム		准教授			◎		○
児島　利治	水文学・地理情報システム		准教授	◎	○	○	○	○
原田　守啓	河川工学・土砂水理学・河川環境工学		准教授	◎	○	○		○
廣岡　佳弥子	衛生工学・電気化学		准教授	○		○	◎	○
小山　真紀	地震工学・地域防災学	地域協働推進室	准教授	○		◎		○
魏　永芬	環境計測学	流域水環境リーダー育成プログラム推進室	准教授	◎	○		○	○

※事前相談を行う場合は、担当教員に直接連絡を取るか、research@green.gifu-u.ac.jp までご連絡ください。

募集テーマと受付可能な共同研究の区分

募集研究テーマ	一般研究課題
１．気象・水・物質循環システムと人間活動影響に関する研究	○
２．生態系の動態と機能の解明と予測に関する研究	○
３．流域圏の安全・リスク診断と、それに資する環境・社会情報分析に関する研究	○
４．流域資源・エネルギーの保全・活用に関する研究	○
５．その他、流域圏科学の発展、流域圏保全に資する研究	○